



はなみずき



第 37 期自治会 2022 年 11 月 21 日：発行

ガーデンハイツならではの 災害リスク ?!



今回は防災（特に地震）について取り上げます。
入間市の市内震度分布図によると、GH 周辺は震度 6 強の想定（立川断層が活動した場合）です。
このような大きな地震のあとにはどんなことがおきるでしょう？
一般的なマンションや GH ならではの災害リスクがあることを皆さんに知っていただき日頃の防災準備等に役立てていただければ幸いです。

リスク 1

大地震後と停電時



トイレ・台所・洗面所・風呂等の
水をいっさい流せない !!

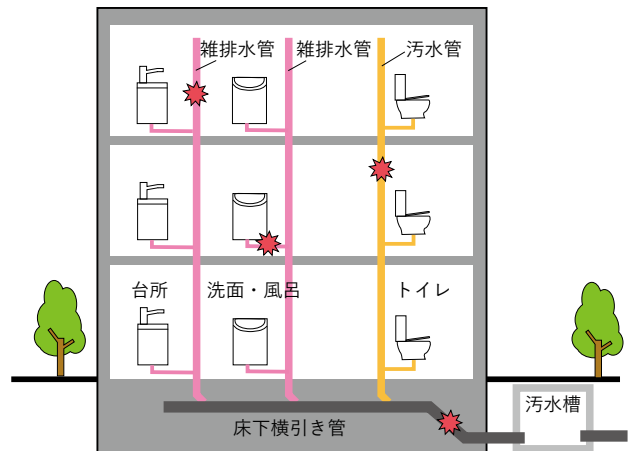
理由①

大地震による排水管の損傷

GH に限らず一般的なマンション等で起こる事ですが大地震後、各家庭からのびている排水管がずれたり損傷することが考えられます。その状態で使用を続けると漏水や逆流が起こります。

どこで損傷が起きているかにもよりますが、東日本大震災では排水管の損傷に気づかず上層階の住民が風呂の残り湯を使ってトイレの汚物を流したことで、下層階で汚水が逆流し、あふれだすという大きな被害が多発しました。

マンションの排水管断面図 (例)



理由②

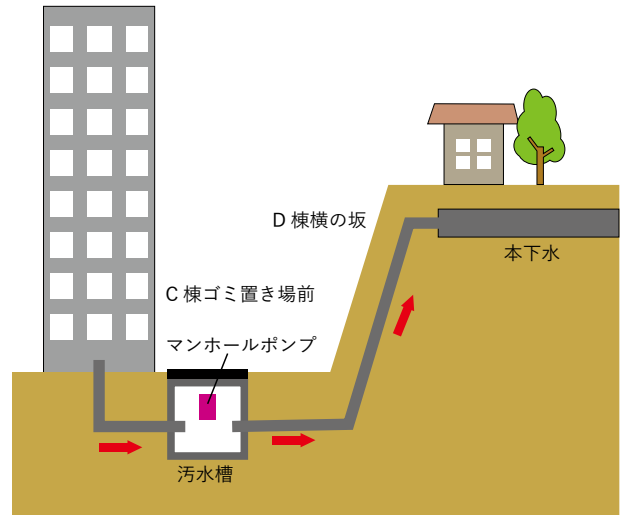
GH 特有の下水排水の仕組み

右の図を見てください。GH では通常時、各家庭から出た汚水は地下の汚水槽に集まり、そこから本下水へ流しているのですが、本下水の位置が GH より高いところにあるので、常に電気を使ってマンホールポンプで強制的に送っています。

つまり停電→ポンプ停止→汚水は溜まる一方。

しかも貯水量には限りがあるので、停電時に各世帯が排水し続けると C 棟ゴミ置き場前にある地下の汚水槽からあふれ、周辺に汚水が流れだしてしまいます。

GH 入間 汚水の流れ イメージ図



リスク1 のまとめ

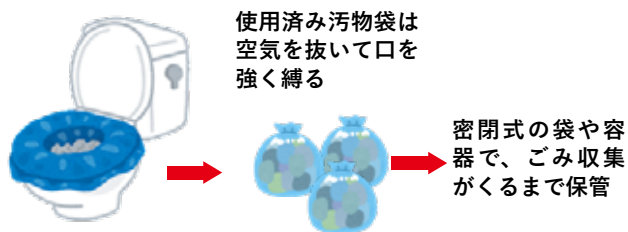
以上のことから停電または大地震どちらかが起きてもGHではトイレも風呂も台所も洗面所も一切排水してはいけないということです。特に理由①は排水管の損傷の確認がとれ、修理完了するまで使えません。大地震後同じような被害が各所で起き、業者の手配がいつになるかわからないとなると、長期にわたって使用できない可能性があります。避難所のトイレはいつ設置されるか？設置されても長蛇の列ということが被災地では起きています。でも排泄は待たなし！どんな備えが必要でしょう。

トイレどうする？

トイレは自宅の便器にセットするタイプの非常用簡易トイレを準備しましょう。

例) 4人家族・10日想定 of 必要数

一日5回×4人×10日 = 200回分



いろいろなタイプのもが販売されていますが、ごみ収集のめどがたつまで時間がかかることも考慮すると汚物の凝固剤に匂いや細菌の増殖を防ぐ性能があるタイプが良いようです。夏場など使用済みの袋内の細菌が増え膨らんで破裂する事例もあったそうで

す。また保管用の袋や容器に入れる消臭剤なども用意しておくで安心です。

「携帯トイレとあわせて必要なもの」

- トイレの後の手指消毒用として消毒液やウエットティッシュなど
- トイレトペーパー



普段から多めに備蓄しておくで安心です。目安：4人家族10日分で約9ロール(30mタイプ)

また国内のトイレトペーパーの4割が静岡県内で作られているため、東海地震が起きると1か月は供給が滞ると予測されています。

- 生理用品
- 乳幼児のいる家庭では紙おむつやおしりふきなど。

台所・洗面所・風呂どうする？

台所

食器は洗わなくてもよい方法をとります。割りばし・紙コップ紙皿など。また手持ちの食器にラップをつけてくりかえし使用すると経済的です。野菜や米など食材も洗えないので、備蓄食料はすぐ食べられるものを中心に用意します。

風呂・洗面所・洗濯

入浴・歯磨き・洗顔・髭剃りは出来ませんので、使い捨ての体を拭くシートや、お尻ふきナップ、水が足りないシャンプー等の用意。

歯磨きは液体歯磨きや口腔ケア用ウエットティッシュ。使用後は洗面器に新聞紙などをセットして吐き出しゴミとして捨てる。

洗濯もできないので清潔なタオルや下着を多めに用意しておきましょう。

やってはいけないこと

× 浴槽に水をためておく

以前は残り湯をトイレに流せば使用できるといわれていましたが、前頁での説明のとおり流すことはできませんし、もし夏場に大地震が起こった場合、ためておいた水が腐ってきても流せません。

日頃は一日の入浴が終わったら浴槽は空にしておくことをお勧めします。



リスク 2

避難所には入れるのか？ → 在宅避難を考える



GHの総世帯数は264です。
1世帯平均2～2.5人とする
とGHの全人口は528～660
人となりますが、この人数が避
難所の東金子小学校には入れ
るとは思えません。は入れても水・

食料や毛布などの備品数は限られています。

自宅が住めなくなるほどのダメージを受ける可能性はマンションより一戸建ての方が高いと予想され、そういった被害にあわれた近隣の方々も避難所へ避難してきます。また避難所の生活はプライバシーが保てなく過酷なものです。

GHの住民は在宅避難をするつもりで準備をしておくほうが懸命かもしれません。

そのためには

1. 家具の転倒を防ぎ地震後も生活できる状態を保つ
家具の対策が在宅非難のかなめになってきます。阪神淡路大震災では



大きな家具も驚くほど動き、飛んできて人々を襲いました。家具を守れば家族も守れるということです。

2. 水・食料の備蓄
停電した場合、給水も止まります。
3. ガス・電気に代わる調理用のカセットコンロとボンベの用意
4. 照明や電源の準備（スマホ充電用等）
5. 家族との連絡方法の共有
6. 情報収集の手段を持つ
7. 冬や夏に被災した時の準備



などなど、ここでは細かく触れませんが、防災本がいろいろ出版されていますので参考にしながら少しずつ備えていきましょう。



リスク 3

外階段が使用できない？ → 外にどうやって出る？

東日本大震災では非常階段などの外階段が建物本体から離れてしまい、使用できなくなった事例があったそうです。

GHでは大地震で外階段に損傷が発生した場合、安全が確保されるまでは使用できない事が考えられます。（余震などが続くような状況ではなおさら）

全ての外階段が使用できない場合、外に出るためには内階段を使うことになります。内階段は2か所あり、

1. エレベーター棟（C棟）
2. D棟

外階段が全て使えなくなった場合の2階（A・B・C棟）を例に説明します。

201～219の方はテニスコート側のベランダにある各部屋の間の隔壁を破って写真のC棟内階段までいき、下におりするというルートになります。

このルートの対象になるのは2・3・5・6・8・9階

の01～19号室（全部で97世帯）それ以外の部屋の方々は共通廊下を通して内階段に行けます。隔壁はフライパンなど硬いものでたたくと簡単に破れるそうですが、ベランダに荷物がいろいろあると緊急時けが人の搬送などに支障がありそうです。

C棟エレベーター棟の内階段



日頃から2・3・5・6・8階の02～19号室の方々にはテニスコート側のベランダが非常時には通路になる事を意識していただき、スペース確保のご協力をお願いします。

（非常用ハッチについて：ここでは901・902の方は使用を想定していますが、それ以外は想定から省いています。）

また自主防災会でも避難経路については重要事項として検討を進めています。

ガーデンハイツの防災組織は？

GHには住民による組織が下図のように3つあり、

①管理組合

②自治会

③自主防災会

③の自主防災会はGHの**全世帯が構成員**とさだめられており、どなたも会員であり、ひとたび災害が起きたときは相互扶助の精神に基づき生命・身体・財産を守る目的があります。

現在、自主防災会については自治会と管理組合からそれぞれ委員を出し、また昨年から引き続き自主防災会の活動をかけて出てくださいました4名の方も加わり合計19名で活動を進めています。

現管理組合理事長は7年間、防災問題に向き合ってきたり、また過去の役員の皆様もここで取り上げたりスクリューについてはもちろん、様々な事に取り組んでいただいています。

しかし課題は多く、すぐには解決が難しいものもありますが、自分たちのことは自分たちで守らなければ！という気持ちで少しずつではありますが活動しています。自主防災会の委員であっても同じ住民で、ひとたび災害が発生すれば同じ被災者となります。

いつ災害が起きるのかは誰にも分かりません。

例えば働き盛りの方々がいない日中に起これば、残っている皆さんで何とかしなくてははいけません。委員さんが何とかしてくれるのではなく、自分たちが何とかするんだという自分事として安全な今のうちに備えを進めていきましょう。その行動が委員さんの負担を軽くし、大きな目で見ればお互いの助けとなります。

野良猫のこと

GH周辺で猫を見かけたことがありますか？

自治会委員の皆さんに聞いたところでは2匹ほど、また、餌をあげている方（GH住民か外部の人かは不明）を見かけたという情報もあります。

管理人さんに聞いたところ今は猫のフン害などの苦



管理員だより

管理員から一言（後藤 始）

今、本州・四国・九州地方の自治体は里山の豊かさを保つためにこの被害の防除に懸命に取り組んでいます。それは**ナラ枯れ**です。

ナラ枯れとは、どんぐりが実るコナラやミズナラ等のブナ科の木にカシノナガキクイムシという小さな虫が媒介するナラ菌が増殖し木を枯死させる現象です。

私たちの住む加治丘陵でも発生し、(夏なのに)枯れた木が目立つようになってきました。

狭山丘陵のトトロの森でも枯死した木を伐倒し焼却して駆除すると莫大な費用がかかるため、クラウドファンディングにより資金を調達する対策を行っています。

つい先日、桜山展望台へ散策に行きましたが、ナラ枯れの症状でもある、木の根元付近にオガクズに似た物が出ているのが多数、確認されました。

豊かな緑の森がいつ戻るかとても心配です。

プラス情報

ナラ枯れが原因で今までほとんどなかった猛毒のカエンタケというキノコが増えているので注意が



必要です。カエンタケは食べると死に至り、触ただけでも皮膚が炎症を起こします。カエンタケは枯れた木（ブナ属）が腐り始めた株や根の周辺から生えることが多く、ナラ枯れは日本人が炭焼きをしなくなり、カシノナガキクイムシが好む太い木を増やしたことが遠因にあるとのこと。自然は複雑に絡み合っており、思わぬ事が起こります。

情はでていないということでした。自治会でこの事について話し合いました。猫が居つくのは衛生面からも問題があるので、無責任に餌をあげるのはやめてほしいという意見が多く聞かれました。

集合住宅ですので猫が好きな人もいれば、嫌いな人もいます。かわいそうだからと餌をあげることで広がっていく問題もたくさんあります。

皆様のご協力をお願いいたします。